



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日

上場会社名 ネットレン(高周波熱錬株式会社) 上場取引所 東
 コード番号 5976 URL <http://www.k-neturen.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大宮 克己
 問合せ先責任者(役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 青井 隆明 (TEL) 03-3443-5441
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 2020年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	18,367	△26.3	△697	—	△447	—	△653	—
2020年3月期第2四半期	24,936	△4.4	1,054	△44.3	1,155	△49.1	571	△58.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △1,039百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △188百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△16.00	—
2020年3月期第2四半期	14.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	72,580	61,130	75.7
2020年3月期	76,277	62,772	73.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 54,950百万円 2020年3月期 56,279百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	13.00	—	9.00	22.00
2021年3月期	—	5.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,800	△16.4	170	△91.9	650	△68.6	100	△60.1	2.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期2Q	43,790,500株	2020年3月期	43,790,500株
2021年3月期2Q	2,937,373株	2020年3月期	2,983,824株
2021年3月期2Q	40,826,604株	2020年3月期2Q	40,806,881株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

当資料に記載の将来に関する予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(第2四半期決算説明会内容の入手方法)

第2四半期決算説明会 (機関投資家、アナリスト向け) は、2020年11月20日に開催する予定であります。なお、第2四半期決算補足説明資料 (第2四半期決算説明会資料) は、説明会終了後にT D n e t及び当社ホームページで開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、個人消費の落ち込みや企業活動が制限されるなど、景気が急速に悪化しました。緊急事態宣言が解除され、持ち直しの動きは見られるものの、感染に歯止めがかかりにくい状況が継続しました。

また、海外においては、中国では新型コロナウイルス感染症による経済の停滞から比較的早期に脱却することができましたが、その他のアジア地域、米国、欧州などでは、いまだ収束時期の見通しが立たない状況が続いており、先行きは、極めて不透明な状況となりました。

このような状況のもと、当社グループは、第14次中期経営計画「Accomplish V-20」（2018年4月より2021年3月までの3ヵ年計画）に掲げた基本方針である「新技術・新商品・新規事業の迅速な開発と市場投入」、「現在と将来を担うグローバル人材の確保と育成」、「安全・品質・CSR活動のグローバル体制の構築」を推進し、企業価値の向上を図ってまいりました。

また、新型コロナウイルス感染症による事業環境の急激な変化に対し、余剰時間を教育訓練時間に活用し、拠点間の柔軟な作業応援を実施するとともに、設備投資計画の見直しや出張の抑制などの諸経費の削減に取り組み、原価低減に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の後半になって受注回復の動きが見られるようになりました。しかしながら、前半の新型コロナウイルス感染症による受注減少の影響を受け、売上高は18,367百万円(前年同期比26.3%減)、原価低減に努めているものの減収の影響が大きく、営業損失は697百万円(前年同期は1,054百万円の営業利益)、経常損失は447百万円(前年同期は1,155百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は653百万円(前年同期は571百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 製品事業部関連事業

土木・建築関連製品の売上高は、オリンピック関連を含む大型プロジェクト件数の減少、新型コロナウイルス感染症拡大による工事の中断などがあったものの、総じて建設需要に大きな変動はみられず、前年同期並みの水準で推移いたしました。

自動車関連製品の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受け、世界的に需要が減退したことにより、前年同期と比較し大幅に減少いたしました。

建設機械関連製品の売上高は、中国においては前年同期並みに回復したものの、国内では、新型コロナウイルス感染症拡大による受注の減少などにより、前年同期と比較し減少いたしました。

この結果、売上高は10,544百万円(前年同期比22.4%減)、主として減収の影響により、営業損失は106百万円(前年同期は237百万円の営業利益)となりました。

② IH事業部関連事業

熱処理受託加工関連の売上高は、自動車、工作機械、建設機械などの主要業界の新型コロナウイルス感染症の拡大による市場減速に大きく影響を受け、前年同期と比較し大幅に減少いたしました。

誘導加熱装置関連の売上高も、新型コロナウイルス感染症の拡大による顧客の設備投資の見直しやメンテナンス時期の先送りに伴い、前年同期と比較し大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は7,757百万円(前年同期比31.2%減)、主として減収の影響により、営業損失は623百万円(前年同期は781百万円の営業利益)となりました。

③ その他

当該セグメントは、報告セグメントに含まれない不動産賃貸事業等であります。

当社保有の賃貸物件については、小規模ではありますが安定的に業績に寄与しております。

この結果、売上高は65百万円(前年同期比2.6%減)、営業利益は28百万円(前年同期比7.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は72,580百万円(前連結会計年度末比4.8%減)となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金や電子記録債権が減少したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は11,450百万円(前連結会計年度末比15.2%減)となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金や電子記録債務が減少したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は61,130百万円(前連結会計年度末比2.6%減)となりました。この主な要因は、利益剰余金や為替換算調整勘定が減少したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は75.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響をふまえ、足元の状況等を総合的に勘案し、2021年3月期の業績予想につきましては、「2020年3月期 決算短信」(2020年5月20日)で公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2020年11月6日)公表の「2021年3月期第2四半期連結累計期間の予想値と決算値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、予測数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,737	13,157
受取手形及び売掛金	11,141	9,488
電子記録債権	3,301	2,427
有価証券	—	89
商品及び製品	1,024	1,119
仕掛品	1,444	1,303
原材料及び貯蔵品	2,103	2,069
その他	1,755	1,100
貸倒引当金	△18	△16
流動資産合計	34,490	30,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,770	8,574
機械装置及び運搬具（純額）	9,886	9,391
土地	9,880	9,847
建設仮勘定	1,911	1,677
その他（純額）	365	382
有形固定資産合計	30,815	29,873
無形固定資産		
借地権	657	631
のれん	895	793
その他	173	161
無形固定資産合計	1,725	1,585
投資その他の資産		
投資有価証券	8,560	8,942
長期貸付金	30	31
退職給付に係る資産	91	83
その他	642	1,404
貸倒引当金	△80	△80
投資その他の資産合計	9,245	10,381
固定資産合計	41,787	41,840
資産合計	76,277	72,580

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,680	1,966
電子記録債務	3,361	2,760
短期借入金	1,370	1,488
未払法人税等	205	131
賞与引当金	607	621
役員賞与引当金	—	4
その他	2,434	1,797
流動負債合計	10,659	8,771
固定負債		
長期借入金	1,645	1,499
役員株式給付引当金	—	0
退職給付に係る負債	939	819
その他	260	359
固定負債合計	2,845	2,678
負債合計	13,505	11,450
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,418	6,418
資本剰余金	4,714	4,698
利益剰余金	47,718	46,698
自己株式	△2,641	△2,600
株主資本合計	56,209	55,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	495	879
為替換算調整勘定	△367	△1,091
退職給付に係る調整累計額	△58	△51
その他の包括利益累計額合計	69	△263
非支配株主持分	6,493	6,179
純資産合計	62,772	61,130
負債純資産合計	76,277	72,580

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	24,936	18,367
売上原価	19,805	15,567
売上総利益	5,131	2,800
販売費及び一般管理費	4,077	3,498
営業利益又は営業損失(△)	1,054	△697
営業外収益		
受取利息	54	42
受取配当金	107	58
持分法による投資利益	—	55
為替差益	—	16
その他	119	101
営業外収益合計	281	274
営業外費用		
支払利息	19	17
持分法による投資損失	124	—
為替差損	25	—
その他	10	6
営業外費用合計	180	24
経常利益又は経常損失(△)	1,155	△447
特別利益		
固定資産売却益	1	0
受取保険金	12	33
補助金収入	5	1
特別利益合計	19	35
特別損失		
固定資産売却損	7	—
固定資産除却損	18	2
その他	1	—
特別損失合計	27	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,146	△414
法人税等	354	131
四半期純利益又は四半期純損失(△)	792	△545
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	571	△653
非支配株主に帰属する四半期純利益	220	107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△240	384
為替換算調整勘定	△524	△721
退職給付に係る調整額	5	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△220	△162
その他の包括利益合計	△980	△493
四半期包括利益	△188	△1,039
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△258	△986
非支配株主に係る四半期包括利益	70	△53

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	製品事業部 関連事業	I H事業部 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,594	11,275	24,869	66	24,936
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6	6	—	6
計	13,594	11,281	24,876	66	24,943
セグメント利益	237	781	1,019	30	1,050

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,019
「その他」の区分の利益	30
セグメント間取引消去	4
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,054

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	製品事業部 関連事業	I H事業部 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,544	7,757	18,302	65	18,367
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	17	17	—	17
計	10,544	7,775	18,320	65	18,385
セグメント利益又は損失(△)	△106	△623	△729	28	△701

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	△729
「その他」の区分の利益	28
セグメント間取引消去	3
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△697

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、自動車業界を初めとする主要な取引先の減産の影響を受け、受注が減少しております。

なお、前事業年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、見積りと将来の実績が異なることがあります。